

合同年忌法要のお知らせ

年忌法要は、家族、親族で勤めることが望ましいですが、諸事情で法要が勤められない方へ案内です。

「年忌法要は何回忌まで勤めればいいのか？」よく質問されます。

50回忌を過ぎると「先祖代々のお仲間になる」と考えられるので、正式には50回忌まで年忌法要を勤めなければなりません。

しかし、親の50回忌を勤める方は、若いうちに親を亡くされている方です。ボクも親の50回忌を勤めるころ、自分は100歳です。すなわち50回忌を勤めることは現実不可能です。

そこで最初の質問です。「何回忌まで勤めるか？」

できる限り長く務めるべきですが・・・？、現実の話どうなの・・・？

皆さんが聞きたいところですね。そこでお答えします。

できれば23回忌位まではお勤めしましょう。もちろんもっと長くお勤めすることはさらに良いことです。なぜか？

子どもが生まれると、お宮参り、100日目にお食い初め、一歳の誕生日には背負餅、七五三と祝います。そして小中高校の入学、そして成人祝いまで。ここでピン！ときた方いらっしゃいますか？そうです。亡くなった方も、49日、100ヶ日、一周忌、三回忌と節目の法要を勤めます。

故人がお浄土へ往生(新たに生まれ変わる)され、20歳の誕生日をお迎えるになられる頃まで、節目の法要をお勤めいただきたいものです。

自分を生み育ててくれた親、人生を共に歩んだ連合いへの恩返しの供養です。

「法要を勤めたくても・・・」

「お寺まで行けない」「参列者がいない」「ついつい年忌の年を忘れてしまった」それぞれの事情があたりでしょう。

そこで下記のように「合同法要」を勤めます。それぞれの思いもおありでしょう。ご一緒に故人様を偲びご恩をお返ししましょう。

法要日程 各回とも13:00～
費用 20,000円以上 供養、施主分の塔婆1本含む 追加塔婆4,000円/本 供養料含む
法要当日、または法要日までに納入。丁寧に勤めるなら供物または供物料を志納ください。
申込 必要事項を記入の上、FAXまたは郵送
参加 法要日に参加否をお知らせください。
茶菓 法要前に客殿ロビーにお茶準備(セルフ)、法要後の茶菓接待はありません。
制限 7回忌以降の方のみ 3回忌までは個々にお勤めください。
12組まで/回 定員締切
出席人数は2人まで。不参加は出席予定者0人と記入
住職でない僧侶が勤める場合があります。

法蔵院 TEL046-848-0154 FAX046-848-4415

法要申込書

施主名 _____ 様 連絡先電話 _____

故人名 _____ 享年 _____ 才 _____ 戒名 _____

命日 昭和・平成 _____ 年 _____ 月 _____ 日 _____ 回忌法要

出席予定者 _____ 人

法要希望日 (2/17 4/10 6/16←実施済) 8/31 10/20 12/15



合同法要の様子

